

(別紙)  
スケジュール

人権ディフェンダーになるための3日間集中プログラム＜ユース向け＞第2回：様々な格差に伴う人権課題

日程	3月14日（土）	3月15日（日）	3月16日（月）
10:00	01 レクチャー・ワークショップ 人権の基礎を学ぶ	02 フィールドワーク・ワークショップ 見えにくい困難に寄り添う 社会的養護と子どもの貧困	03 フィールドワーク・ワークショップ 当事者との交流を通じて考える 人権課題と行動計画
	オリエンテーション 10:00～10:15		
	プログラム①10:15～11:30（レクチャー）	プログラム③10:00～13:00（フィールドワーク）	プログラム⑤10:00～13:00（フィールドワーク）
	人権とは何か	施設を出た若者のリアルから考える	不登校経験者の声を聴く
	（公財）東京都人権啓発センター専門員	高橋 亜美 （アフターケア相談所「ゆずりは」責任者）	石本 恵美 （創造集団440Hz代表取締役/代表理事）
13:00	安全な学習環境を守るためのルールの確認とアイスブレイク を行った後、人権の基礎知識、人権ディフェンダーとは何か を学びます。	児童養護施設や里親家庭を出たあとの子どもや若者などを支 援する「アフターケア相談所」を運営してきた高橋さんが、 新たに開設した“集いの場”「ながれる」を訪問します。親の 虐待などで社会的擁護を経験した若者が直面する困難につい て学びます。	不登校やひきこもり経験者が立ち上げ、映像制作などを行う 社会的企業「創造集団440 Hz」を訪問します。当事者たちが 背負われる孤独感や進学・就職での困難を超えて、自分ら しい人生を模索する取り組みを学びます。
	昼休憩	昼休憩	昼休憩
	プログラム②12:30～17:00（ワークショップ）	プログラム④14:30～17:00（ワークショップ）	プログラム⑥14:30～17:00（ワークショップ）
	見えない前提に気づく：特権性を考える	「子どもの貧困」を権利の視点から学ぶ	権利を守るために行動する
	出口 真紀子 （上智大学外国語学部英語学科教授）	甲斐田 万智子 （立教大学講師、認定NPO法人国際子ども権利センター （C-Rights）代表理事）	（公財）東京都人権啓発センター専門員
17:00	身近な場面に潜むさまざまな不平等を理解するための基盤と して、特権性とそれを生み出す社会構造について学びます。 自分が無自覚に享受している有利さに気づくことで、他者が 置かれている不利な状況を想像しやすくなり、人権課題をよ り多面的かつ立体的に捉える力を養うことを目的とします。	国内外の子どもを取り巻く現状を、子どもの権利の視点から 学びます。特に、ワークを交えた講義を通して、子どもの貧 困の背景や影響について理解を深め、「子どもの貧困」を自 分と関わる課題として捉えることを目指します。	3日間を振り返りながら、自分の身の回りで行えることや目 標を整理し、気づきを行動につなげるための行動計画を作成 します。
会場	東京都人権プラザ	訪問先：「ながれる」 東京都人権プラザ	訪問先：創造集団440Hz 東京都人権プラザ

講師

- ・ 出口 真紀子（上智大学外国語学部英語学科教授）
- ・ 高橋 亜美（社会福祉法人「子供の家」アフターケア相談所「ゆずりは」責任者）
- ・ 甲斐田 万智子（立教大学講師、認定NPO法人国際子ども権利センター（C-Rights）代表理事）
- ・ 石本 恵美（創造集団440Hz代表取締役/代表理事）

グラウンドルール（参加に当たっての約束・注意事項）

- ①「安全・安心」皆さんの安全に最大限配慮してプログラムを行います。心配なことがあればいつでもスタッフに相談できます。
- ②「プライバシー」プログラムで知り得たお互いのプライバシーは口外しません。また参加に際して本名を名乗る必要はありません。好きな名前前で参加できます。
- ③「傾聴」相手の話を遮らずに最後まで聞きます。お互いを尊重し、相手を否定しません。
- ④「無理をしない」あなたの状況について、他の人に無理に話す必要はありません。途中で気分が悪くなった場合はいつでも退出・休憩できます。
- ⑤「差別を許さない」ジェンダー・人種・年齢等に基づく差別的な発言や行動は許容しません。問題のある場合は退場していただきます。
- ⑥「撮影禁止」録画、録音、撮影は禁止します。主催者も、皆さんに無断で録画、録音、撮影は行いません。